

【神戸大学】令和7年度高大連携特別講義（公開授業）

高大連携特別講義2

時期: 令和7年7月31日(木)

場所: 六甲台第二キャンパス 神戸大学百年記念館 六甲ホール

時限	1 時限 (10:00～11:00)
講義題目	協力の心理学
学部	文学部
講義担当者	ターン 有加里ジェシカ (たーん ゆかり じえしか)
[講座の目標等]	
人間の協力行動に関する社会心理学(心理学の一分野)の基本的な考え方を学びます。	
[講座の内容・計画等]	
なぜ人間は、互いに協力しあえるときと、そうでないときがあるのでしょうか。本講座では、社会心理学の理論や研究手法を紹介しながら、この問いについて考えます。	
[テキスト・教材・参考書等]	
教材は授業内で配布します。	
[履修上の注意]	
心理学実験を体験できるオンラインのタスクを用意しているため、スマートフォンなどネットワークにつながっているデバイスを持参してください。	
[高校生へのメッセージ等]	
人間の協力行動に関心がある方や、大学で学ぶ心理学に関心がある方向けの講座です。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。	

【神戸大学】令和7年度高大連携特別講義（公開授業）

高大連携特別講義2

時期：令和7年7月31日（木）

場所：六甲台第二キャンパス 神戸大学百年記念館 六甲ホール

時限	2 時限（11:10～12:10）
講義題目	衣生活と環境問題
学部	国際人間科学部
講義担当者	井上 真理（いのうえ まり）
[講座の目標等]	
衣生活にかかわる環境問題を理解し、持続可能な衣生活のあり方を考える。繊維・ファッション業界の環境負荷、経済産業省の繊維ビジョンと技術ロードマップ、大学における繊維製品に関する研究を通じて、未来の衣生活の在り方を探る。	
[講座の内容・計画等]	
1. 繊維・ファッション業界と環境 繊維産業は環境負荷が大きい産業。 大量生産・大量消費・大量廃棄の問題と、持続可能なファッションの必要性。 2. 経済産業省の繊維ビジョンと繊維技術ロードマップ 2030年に向けた繊維産業の展望。 繊維to繊維リサイクル技術、無水型染色加工技術、スマートテキスタイルの開発。 3. 大学や学会における繊維製品に関する研究・活動 衣服の風合い・着心地の客観評価。 繊維製品の快適性と環境負荷の関係を研究し、持続可能な衣生活の実現を目指す。	
[テキスト・教材・参考書等]	
特になし	
[履修上の注意]	
特になし	
[高校生へのメッセージ等]	
私たちの衣生活は、環境に大きな影響を与えています。生活者として環境問題を身近に捉えてみてください。そうすれば、一つ一つのもの選びに違いが出てくるでしょう。身近な環境問題を考える人が一人、また一人増えることで、社会は変わると信じています。	

【神戸大学】令和7年度高大連携特別講義（公開授業）

高大連携特別講義2

時期: 令和7年7月31日(木)

場所: 六甲台第二キャンパス 神戸大学百年記念館 六甲ホール

時限	3 時限 (13:30~14:30)
講義題目	港湾物流とスケジューリング
学部	海洋政策科学部
講義担当者	西村 悦子 (にしむら えつこ)
[講座の目標等]	
港湾都市である神戸にある大学として、港湾を取り上げたいと思います。 街づくりの一部として、港湾が計画されると同時に、物流活動の場としての機能も大きい。 そこで、物流活動の場としての港湾機能について話題提供し、船舶が港湾施設を利用するスケジュール情報についても触れてもらいたいと思います。 スケジュール情報は、港湾施設の運用管理に有益な情報を与え、施設整備にも大きく影響します。 港湾政策の立案にも関係します。 そこで、港湾物流とスケジューリングの関係について、理解を深めてほしいです。	
[講座の内容・計画等]	
1. 港湾の現状 2. 港湾の役割 3. 港湾ターミナル施設の概要 4. ターミナル運用のためのスケジュール情報 5. スケジュール情報の利用と港湾政策への貢献	
[テキスト・教材・参考書等]	
当日、配布します。	
[履修上の注意]	
特にありません。	
[高校生へのメッセージ等]	
海洋政策科学部は、海洋政策科学科のみで、一般3領域(海洋ガバナンス、海洋基礎科学、海洋応用科学)と海技ライセンスコース(航海、機関)から構成されています。 その中の政策科学分野の教育を担っているのが、海洋ガバナンス領域です。 海に面した港湾施設を題材に、政策科学とスケジューリングについて話題提供します。	

【神戸大学】令和7年度高大連携特別講義（公開授業）

高大連携特別講義2

時期: 令和7年7月31日(木)

場所: 六甲台第二キャンパス 神戸大学百年記念館 六甲ホール

時限	4 時限 (14:40～15:40)
講義題目	法の役割とグローバル時代の法的問題
学部	法学部
講義担当者	中村 知里 (なかむら ちさと)
[講座の目標等]	
この授業では、身近な法的問題をもとにして、法はなぜ存在するのか、法を学ぶとはどのようなことなのかを考えます。 また、グローバル化が進化した今日では、みなさんの身近でも外国の人や会社とかかわるさまざまな出来事が生じるでしょう。外国ともかかわるような私法上の問題が起きたとき、その解決について特別な問題が生じます。そのような問題を解決する「国際私法」にも触れ、その意義についても考えてみたいと思います。	
[講座の内容・計画等]	
授業の前半では、私たちの身近にある私法上の問題を題材として、何のために法があるのか、なぜ法学が必要で、そこでは何を学ぶのか、ということを考えます。 その上で、授業の後半では、前半で見たような法的問題に外国とかかわる要素が含まれたらどうなるのか、どのような問題が生じ、それを解決するにはどうしたらいいのかを考えます。	
[テキスト・教材・参考書等]	
当日、授業内で配布します。	
[履修上の注意]	
特にありません。	
[高校生へのメッセージ等]	
法には、憲法、民法、刑法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法、行政法のような基本的なもののほか、労働法や知的財産法、経済法など、それぞれの分野に応じた専門的なものもあります。この授業で触れる国際私法もその1つです。法は社会のさまざまな面を規律し、調整しています。この一端に触れ、法学部に関心をもっていただけたらとても嬉しいです。	